

『目的貫徹まで怠業』

暴行はせず」と労友會の決議

同志會も接近し来る

友愛會

労友會にては七日夕、緊急幹部會を開き、今後の行動に就き、決議を遂げたる結果、左の如く申合せたれく、實行することに決したりと

一、今後決して暴行に出でざるべし
一、過激な行動は、必要なき限り、行はず
一、其の目的貫徹まで、各工場を離れず、堅持するべし

同志會

同志會の成立當初の形式上、大體に於て、同志會を承認し居れるが、如くなるも、一般會員の意向は、同志會に傾かず、友愛會及び友愛會と相通せんとする傾向ありて、形勢依然不穩なるものありし

軍隊出動の要更に無し

齋藤警察部長談

製造所の罷工に對し、一部に於て、傳へいる、軍隊の出動に對し、齋藤警察部長は、任にある齋藤福岡警察部長は、大體今度の事件に關し、軍隊出動を唱へ出す事は思はざるも、甚しき

ものである同盟罷業の中心たる友會の連中、あつても罷工電氣のスイッチを切つたとか、又は物を破壊したといふ位であつて、其の目的は、軍隊を出す必要が無い、其後の状態に徴しても、社會の公安を破壊する程度の險惡になつて居ないから、軍隊出動等には想像し得ない處である、大體今度の事件は、製造所といふ工場内に勃發した事件で

代表者憤慨して語る

『我等は今日迄自重して来た』

中川次長は食言せり

去る五日、中川次長と會見後、直に八幡鐵廠に渡り、取調の上、七日夜に至り、解雇された職工側代表者の一人、山田繁雄氏は、本社特派員に「中川次長以下、製造所當局が代表者五名とも、檢査されたを奇貨とし、回答期は勝手に定めたりとか、今回の擧は一部少數の煽動による」とか語り、居れるは世を驚くも亦、世に於て會見の問答筆記を以て憤然として語る

警保局事務官視察

内務省警保局事務官天宅敬次氏は、昨日午後十一時、來幡佐藤警察次長、野村八幡警察長より、事件の經過を聴取したるが、八日現場を詳細に視察せり

労友會療養所

家宅搜索さる

八幡鐵廠所職工同盟罷工事件勃發と同時に、八幡に出張取調中なる福地地方裁判所倉田豫審判事は、八日正午裁判所書記及び十數名の警官を従へて、突然同市中央部電車通り

か守又白仁長官の言はる、如く、鈴木友愛會長の演説にも動かされなかつた程、柔順であつた、之が直に動搖して今回の擧げのやうな大騒ぎになつたのは、一萬六千の我等の同僚が最早、早へ切れなかつた事實を物語るものでなく、何であらう、それにも拘らず、全職工の意圖にあらざるや、驚くは世を驚くも亦、甚しき又、回答期に就ては、木村八幡警察長委員との間に押問答のあつた末、次長自らそれなら、明後日七、八日午後六時では、どうも切出し、遂に之に決したに拘らず、何等約束せぬことは、押上にあるまじき卑劣なやり方です

其等一般民衆に危害を及ぼすべく、無く此形勢が假令悪化した處で、其及ぶ處は、製造所内に限られて居る以上、是位の事に軍隊を出さなくとも解決し得る事である、製造所に於て、職工側の要求に對して、相當考慮をして居る處であるから、軍隊出動などは、何うしても想像し得られぬもの云ふは、ばねばならぬ云々

大日本勞友會療養所に至り、約一時間、戻つて、嚴重に家宅搜索を行ひたる上、同午後一時、重傷者押収して、引揚げたり(以上八幡電報)